

# 一主婦からの新発田市政通信

発行者 新発田市御幸町 3-1-21

青木三枝子 Tel 0354-26-8334

7月第1号

私は、これまで新庁舎移転に対して反対の立場で運動してきました。市議会傍聴、署名活動、情報公開請求、交通量調査、新発田警察や各銀行への聞き取り調査、チラシ作成と配布など、その中で多くのことを学びました。この学びを通して、何とかこの新発田市政の現状を住民の皆様に伝えたいと思うようになりました。現代は、インターネットのブログなどで通信する方法もあります。しかし、それでは直接の人と人のつながりが生まれません。新庁舎が抱えている問題についてチラシを作成し、一軒一軒配布するために市内を歩く中で、直接に人と対話することの大切さに気づきました。労を惜しまず、批判を恐れず、やってみようと思いを立ちました。市議会傍聴はもちろんのこと、普段の生活の中で市政に対して、一主婦である自分がおかしいと感じることを伝えていこうと思います。

## 1 6月16日の中心市街地活性化セミナーについての広報の記事について

まず事前の広報を手にしたとき、これは何のためのセミナーかなと思いました。セミナーの焦点は新発田駅前複合施設、特に図書館建設が中心の説明会であったにも関わらず、焦点がぼかされていると感じたのです、まるで市民に集まって欲しくないといわんばかりの広報でした。実際、私の周りの多くの人は広報を手にしても何も気づいていませんでした。もしこれが駅前複合施設についての説明会とあれば、もっと多くの市民がセミナーに集まったのではないかと思います、説明会は説明会をやりましたというものであり、住民には詳しいことを知らせず事を進めるための言い訳材料としか思えないのです。町中を大きな音量で参議院選挙に行くようにと車が走っています。それぐらいのことをして市民参加を促してほしいものだと思います。

## 2 7月16日の地域交流センター駐車場使用ができなくなるという広報の記事について

新庁舎建設工事のために今年11月1日から駐車場が一部使用できなくなるという記事がありました。私はすでにある紙面でこの知らせがおかしいと感じていました。新庁舎建設は平成26年度から開始する予定でしたから。市の新

庁舎建設室に確認をしました。今年度は建設する支障物を撤去し更地にするための工事であること、建物自体の本体工事は平成26年度からであることを確認しました。新庁舎建設に今も諦めず反対をしている私にとって工事開始は大きな問題でした。市の担当者は市民にわかりやすいように新庁舎工事開始としたと釈明しました。やり取りの中で、もう決まったことなのだから、市民がもう関心がないのだから、できるだけ早く工事に着手しようとする意図を感じました。

## 3 図書館を駅前複合施設の中に建設することについて

生涯学習センターで開催されたセミナーでの市側の担当者と市民とのやり取りについては、すでに新潟日報の記事で御存知と思います。今年3月市議会で市長は商工会議所と図書館を複合施設として平成27年度に完成させたいと述べました。その後、商工会議所が駅前移転を断念したことから、図書館建設が大きくクローズアップされるようになりました、図書館を駅前に建設することは新庁舎建設問題と同様大きな問題と考えた私は、知人に声をかけました。女性であればイデオロギーの違いはあっても図書館問題には関心があると考えたからです。皆このことに気づいていませんでした。新庁舎問題ではチラシを直接配る中で多くの市民の方の憤りを耳にしました。問題の根は同じです。補助金目当てに住民の声に耳を傾けず、早急な建物先行の街づくりは失敗します。ある中学生に、図書館を駅前に建てようとしていることについてどう思いますかと聞きました。彼女はすぐに「騒がしいところは・・・」と答えました。本当にそこで学ぼうとする人にとっては当たり前感覚なのです。セミナーに参加した女性達が中心となり、市民の声を聴く場を設けて欲しいと約420名の署名を集めパブリックコメントとして市に提出しています。

どうか皆さんも図書館建設問題に関心を持って下さい。

まだまだ伝えたいことはありますが、今回はこのくらいにします。来月末から市議会が始まります、そこでの情報も伝えたいと考えています。

皆様の感想をお待ちしています。